

平成 28 年度 事業報告

(自:平成 28 年 4 月 1 日 至:平成 29 年 3 月 31 日)

I 事業の状況

本財団は、薬学及び関連諸分野の研究を奨励振興するため、平成 28 年度は以下の諸事業を行った。

1 研究助成金の授与

薬学及び関連諸分野の基礎並びに応用研究に関し、将来有望な若い研究者に対して、助成金を授与した。

グループ A は助成対象を化学系、物理系、生物系、医療系の各分野及びこれらの複合分野の基礎的研究から合計 10 件（1 件 100 万円、総額 1,000 万円）を、グループ B は次の各分野及びこれらの複合分野の応用的研究（調査・統計研究を含む）：医療現場（薬剤部・薬局）における研究、伝統医薬に関連した研究、衛生化学・環境化学を指向した研究、医薬品・医療分野における分析を対象とした研究、社会薬学・レギュラトリーサイエンス研究の応用的研究から合計 8 件以上（1 件 80 万円以内、総額 640 万円以内）を、それぞれ選考することとした。

グループ A は 144 件、グループ B は 47 件の応募があった。選考委員会からの授与候補者、助成金額の選考結果を受けて、理事会においてグループ A は助成金額は 1 件 100 万円で合計 10 件、グループ B は 1 件 50～80 万円で合計 9 件（総額 640 万円）に授与することを決めた。助成金授与決定研究題目及び受領者は別紙 1 のとおりである。

2 国際学術交流補助金の授与

研究者の海外派遣補助金の授与

平成 29 年度に、海外で開催される薬学及び関連諸分野の国際会議等への参加旅費等の補助を希望する研究者を対象に採択枠 2 件として募集したところ、2 件の応募があり選考の結果、2 件に各 30 万円（総額 60 万円）の補助金を授与した。補助金を授与した受領者と参加学会は別紙 1 のとおりである。

国際学術交流補助事業のうち、海外からの研究者招聘補助と国際会議開催補助については募集を行わなかった。

3 刊行物

1) 「薬学研究の進歩-研究成果報告集 33」の刊行

平成 29 年 3 月、平成 25 年度の研究助成金受領者 18 名の研究成果を収載した「薬学研究の進歩 33」(A4 版本文 127 頁)を刊行した。

2) 機関誌「薬奨ニュース」の発行

平成 28 年 7 月及び 29 年 1 月に機関誌「薬奨ニュース No. 23、No. 24」を発行した。掲載内容は本財団のホームページにおいても公開した。

以上

第 37 回 (平成 28 年度) 薬学研究奨励財団
研究助成金及び国際学術交流補助金(海外派遣)受領者

I 研究助成金

1 グループ A (1 件 100 万円、10 件、総額 1,000 万円)

- 「Epstein-Barr-Virus 感染癌細胞における microRNA を介した癌転移機構の解明」
(慶應義塾大学・薬学部・助教) 秋好 健志
- 「肝障害時における分子標的薬イマチニブの消化管吸収変動メカニズムの解明」
(金沢大学・医薬保健研究域薬学系・助教) 荒川 大
- 「コバルトヒドリドを活性種とするオレフィンのヒドロ官能基化反応における
網羅的不斉化検討」 (武蔵野大学・薬学部・講師) 重久 浩樹
- 「脳梗塞急性期におけるコンドロイチン硫酸損傷機構の解明」
(千葉大学大学院・薬学系研究院・助教) 東 恭平
- 「不均一系ロジウム触媒を用いた酸素酸化反応による環境調和型分子変換法の開発」
(徳島文理大学・薬学部・講師) 松本 健司
- 「網膜における神経-グリア-血管連関を創薬ターゲットとした
緑内障治療薬開発の新機軸」 (北里大学・薬学部・助教) 森 麻美
- 「生理活性天然物合成を指向した戦略的金触媒利用による複素環化合物の合成」
(昭和薬科大学・准教授) 森田 延嘉
- 「T型カルシウムチャネルを標的とした統合失調症認知機能障害改善薬の基礎研究」
(東北大学大学院・薬学系研究科・助教) 矢吹 梯
- 「B型肝炎ウイルスの感染能獲得機構の解明」
(慶應義塾大学・薬学部・助教) 横川真梨子
- 「バイオ医薬品の非侵襲性投与を可能とする次世代型吸収促進剤の開発」
(大阪大学大学院・薬学系研究科・助教) 渡利 彰浩
(応募件数 144 件)

2 グループ B (1 件 50~80 万円、9 件、総額 640 万円)

- 「抗リウマチ薬による二次発がんリスクの検討-有害事象自発報告データベースを
用いて-」 (大阪市立大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤師) 冨瀬 諒
- 「トロンボモジュリン- α の抗炎症作用とその個体差要因の解明：
敗血症性 DIC 治療への応用」 (三重大学医学部附属病院・薬剤師) 榎屋 友幸
- 「定量 TLC を用いた生薬シンの経時的变化を示す成分の解明」
(東京理科大学・薬学部・嘱託助教) 大嶋 直浩
- 「妊婦の向精神薬使用と児の奇形との関連の解明」
(東北大学病院・薬剤部・准教授) 小原 拓
- 「難吸収性医薬品の経口製剤開発を支援する膜透過性ペプチドキャリアの
応用性予測システムの構築」 (神戸学院大学・薬学部・助教) 亀井 敬泰
- 「腎がん治療薬パゾパニブの薬物動態およびファーマコゲノミクス解析に基づく
個別化薬物療法の確立」 (滋賀医科大学医学部附属病院・薬剤師) 野田 哲史

「PK/PD/PD_x解析によるトルバプタンの最適投与法の構築」

(静岡県立大学・薬学部・助教) 平井 啓太

「薬局と大学が連携した認知症早期発見に向けた新たな取り組みに関する検討」

(兵庫医療大学・薬学部・助教) 村上 雅裕

「ポリコナゾールの主代謝物Nオキシド体の曝露による皮膚障害リスク上昇に着目した至適投与法の確立」

(浜松医科大学医学部附属病院・薬剤部・薬剤主任) 山田 尚広
(応募件数 47件)

II 国際学術交流補助金

1 研究者の海外派遣補助金 (1件 30万円、2件、総額 60万円)

「第6回 FIP 世界薬学会議 2017」

2017. 5. 21～24 スウェーデン ストックホルム

(明治薬科大学・助教) 井上 元基

「第6回 FIP 世界薬学会議 2017」

2017. 5. 21～24 スウェーデン ストックホルム

(東京薬科大学・薬学部・講師) 金沢 貴憲
(応募件数 2件)

以上

事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項なし。